

大阪大学 MMDS ワークショップ

# 工学と数学の接点を求めて

## プログラム

11月28日(火)

10:00-10:50 非測定型トポロジカル量子誤り訂正の実装に向けて  
根来 誠 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

11:00-11:50 多体電子系における長距離秩序の存在と非存在について  
鹿島洋平 (大阪大学 MMDS)

13:30-14:20 テラヘルツ領域の光物性における数理学への期待  
永井正也 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

14:30-15:20 トポロジカル絶縁体・超伝導体の数理学  
藤本 聡 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

15:30-16:20 数理工学とは？  
藤原彰夫 (大阪大学大学院理学研究科)

11月29日(水)

10:00-10:50 大規模電子状態計算に向けた行列対角化の高速化  
森藤正人 (大阪大学大学院工学研究科)

11:00-11:50 大規模な 0-1 整数計画問題に対する発見的解法  
梅谷俊治 (大阪大学大学院情報科学研究科)

13:30-14:20 トポロジー最適化によるマイクロ構造設計  
加藤準治 (東北大学大学院工学研究科)

14:30-15:20 数学・情報科学的手法は未来の製造業にどう役立つ？  
半導体産業の例  
浜口智志 (大阪大学大学院工学研究科)

15:30-16:20 R 言語パッケージ BNSL の開発とゲノム解析への応用  
鈴木 謙 (大阪大学大学院基礎工学研究科)

日時

2017年

11月28日(火) ▶ 29日(水)

会場

大阪大学 基礎工学国際棟  
シグマホール

参加費無料

事前申込不要